

コラム⑤ 地域で声かけ～困っている人、いつもと様子が違う人を見かけたら～

あなたの声かけが、命を救うことがあります



- 気候や場所に合わない服装や汚れた格好である。(冬に薄着、夏に厚着、裸足など)
- 道路の縁石などに、長時間座り込んでいる。
- 地域で見かけない高齢者がいる。
- ウロウロ、キョロキョロ、ソワソワと困っている様子をしている。

声かけの流れ

何かお手伝いできることはありますか？

体調が悪そう

119番(消防へ)

手がかりがない

110番(警察へ)

何かお困りのことはありますか？

声かけのコツ

・3つの「ない」

1. 驚かせない
2. 急がせない
3. 自尊心を傷つけない

・7つのポイント

1. まずは見守る
2. 余裕をもって対応する
3. 声をかけるときは一人で
4. 後ろから声をかけない
5. やさしい口調で
6. おだやかに、はっきりした話し方で
7. 相手の言葉に耳を傾け、ゆっくり対応する

手がかりがある



・見守りキーホルダーがあった場合

キーホルダーに書かれたおとしより相談センターに電話(月～土 9:00～17:00(祝日・年末年始を除く))、または、警察署・消防署に届けて、キーホルダーの存在を伝える(警察がキーホルダーをみて、事前登録された緊急連絡先に連絡をする可能性があります)。

・洋服や持ち物に緊急連絡先などが書かれていた場合
本人の了解を得て、緊急連絡先などに連絡をする。

・その他の手がかりがあった場合

緊急連絡先などは直接的にわからないが、なんらかの手がかり(手帳、スマホなど)を見つけたことを警察に伝える。

